

令和3年度 第2回 羽島市歴史民俗資料館 運営協議会（会議要旨）

日 時	令和4年2月16日（水）午後4時～午後5時
場 所	羽島市歴史民俗資料館2階 映画資料室
出席者	<p>【運営協議会委員】出席者7名 不破洋（会長）、山中一悦（委員）、森正智（委員）、虫賀勇一（委員） 桐井康次（委員）、並河晴夫（委員）、田中純子（委員）</p> <p>【羽島市教育委員会】出席者3名 森嘉長（教育長）、今井田明弘（生涯学習課長）、後藤哲雄（同課主事）</p> <p>【事務局：羽島市歴史民俗資料館】出席者2名 今井田康雄（館長）、奥田千登勢（管理係長）</p>
内 容	<p>1. 教育長あいさつ</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p><u>1. 令和3年度の事業報告（途中経過）について</u></p> <p>（1）事業内容</p> <p>○新型コロナウイルス感染防止に係る対応 「まん延防止等の重点措置」および「緊急事態宣言」により 8月20日～9月末まで休館</p> <p>○企画展 「大映・日活映画・2752本の軌跡展」 期間：4/3～6/13 入館者数：1,095人 「羽島的美濃路 間の宿展」～間の宿(加藤家)ゆかりの品々～ 期間：6/26～8/19 入館者数：478人 「竹鼻線開通100周年展」～軌跡をたどり、そして未来へ～ 期間：10/2～12/12 入館者数：1,924人 「昔のくらしと道具展」～羽島高校100年の歴史～ 期間：1/8～3/13 入館者数：214人（1月末現在）</p> <p>○映画の集い 計9回開催。午前の部と午後の部で各30人を上限に上映。</p> <p>○マイコレクション 「昭和42年怪獣大集合展」（岐阜市）原 詠人氏</p>

期間：4/3～7/11

「円空彫りオリジナル作品展」 （羽島市）円空にここにこ会

期間：7/17～8/29

「ローズウインドウ展」 （大垣市）児玉智美氏

期間：10/1～10/24

「水墨画展」 （羽島市）青木 清氏

期間：11/2～12/19

「羽島から撮る星空展」 （羽島市）松下友幸氏

期間：1/8～3/20

○夏休み歴史教室（小学生対象）

8/3（火）8:30～12:00

参加者 19 名（小学生：15 名、保護者：4 名）

○古文書学習会／俳諧歴史入門

いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（2）寄贈採納・収蔵状況

① 映画資料について

・ 寄贈採納：4 件

・ 収蔵状況：121,436 点（R4.1.31 現在）

② 歴史民俗資料について

・ 寄贈採納：8 件

・ 収蔵状況：26,067 点（R4.1.31 現在）

（3）入館者の状況（令和 3 年度）

・ 入館者数：3,753 人 入館料：837,485 円（R4.1.31 現在）

（4）資料館経営方針より

コロナ禍において、ホームページの拡充や VR 等を活用した企画展のデジタル化を行った。また、昨年度に引き続き資料の適切な管理や感染症対策に努めた。

〈質疑・応答〉

（委 員） 6 月開催の第 1 回資料と比較し、職員が 1 名減少しているのはどうしてか。

(事務局) 昨年12月末で、退職したためである。

(委員) 現職員の負担が増加していないか、あるいは引継が適切に行われているか危惧している。人手不足はもとより、資料の適切な管理やデジタル化を見越して、データ管理を得意とする人などを積極的に採用することが円滑な運用に繋がる。

(事務局) 退職者の業務は、現職員が行っている。また、広報はしま2月号で職員の募集を行い、4月より正職員として1名採用を予定している。

2. 令和4年度の事業計画について

(1) 事業計画

- 企画展 (4回)
- 映画の集い (12回)
- マイコレクション (6回)

(2) 資料館運営の現状

令和3年度は業務パソコンの入れ替えや、防犯カメラの更新等を行った。今後も老朽化した設備について、更新を進めていく。

映画の集いについて、16ミリフィルムで上映を行っているが取り扱い業者が限られており、フィルムの老朽化も進んでいるため、今後について検討が必要。

コロナ対策については引き続き徹底していく。

4. その他 新聞記事紹介

〈質疑・応答・意見交流〉

(委員) 小学生を対象とした歴史教室は、故郷の良さを知ることができ素晴らしいことである。羽島高校や竹鼻線の企画展も話題性があり、他県からの来訪者が多いと伺っている。

コロナ禍で、学校の社会科見学も中止・延期となっている中、学校と館をインターネットで接続し、オンライン見学等も実現できるとよい。

(委員) 映画上映について、16ミリフィルムと35ミリフィルムではどの程度価格が異なるのか。また、35ミリフィルムは当館でも上映できるのか。

(事務局) 35ミリフィルムも上映できるが、16ミリフィルムと比較し

て2～3倍程度価格が高い。現在16ミリフィルムを上映しているところは皆無。関係先が所持しているため上映しているが、老朽化で上映できない作品もあり、今後は心配される。

また、コロナ禍で映画館離れが進んでおり、当館も少なからず影響があるため、コロナ収束後の集客が課題である。

(委員) 映画上映を含め、様々な文化活動が縮小している。重要なのは感染対策をしながら続けていくことである。

5. 閉会